

大日本スクリーン製造株式会社  
富士写真フイルム株式会社  
エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社

～高速ネットワーク上で運用する印刷製版・広告・出版業界向け通信アプリケーション～  
「GTRAX(ジートラックス)」のサービス開始について

大日本スクリーン製造株式会社(以下大日本スクリーン 本社:京都市上京区 代表取締役社長:石田 明)、富士写真フイルム株式会社(以下富士フイルム 本社:東京都港区 代表取締役社長:宗雪雅幸)、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社(以下NTT Com 本社:東京都千代田区 代表取締役社長:鈴木 正誠)の三社は印刷製版・広告・出版業界の変革と活性化に貢献する通信アプリケーション「GTRAX(ジートラックス)\*1」を共同開発し、平成11年9月1日よりトライアルを行ってまいりました。

その間約80サイトのお客様にトライアル参加いただき、クライアントソフト・セントラルサーバ等の機能確認、また、コラボレーションの実現による業務効率化実現等の評価を経て、いよいよ平成12年4月25日から本格的にサービスを開始いたします。

印刷製版・広告・出版業界では、ユーザーニーズの多様化と短納期化の中、また企画から印刷までの全工程の合理化といったニーズが大きくなってきています。このようなニーズに応えるため、「GTRAX」はネットワークを介してデジタル機器を統合することで、クライアント、デザイン制作会社、製版・印刷会社間で距離や時間に制約されない制作環境を提供し、制作工程の大幅な省力化と制作コストの削減を実現いたします。このように、企画から印刷までのプロセスや企業間を有機的に接続することでコンカレントパブリッシング\*2を実現させるアプリケーションと言えます。

\*1 GTRAX 本商標は現在共同出願中

\*2 コンカレントパブリッシング

ネットワークデータベースを使うことにより、印刷物制作の企画から印刷・出版までの全工程を同時に、かつ並列に進行すること。進行状況や決定事項を全工程の作業者が把握することで、制作期間の大幅な短縮、コストの削減が期待できる。

## 1. 「GTRAX」の概要

クライアント、デザイン制作会社、製版・印刷会社などお客様は、GTRAXセントラルサーバを活用することによって大容量のコンテンツファイルを効率的にデジタル配信することが可能になります。さらに、GTRAX独自のアプリケーションを利用して、これを印刷物の企画、制作から印刷までの一連のワークフローに活用することにより、納期短縮、コスト削減等を図ります。

## 2. 「GTRAX」の特長

### (1)全国各地からのデータアクセス

- ・お客様は、全国各地からニーズに応じてダイヤルアップを含む64Kbpsから135Mbpsの回線速度でセントラルサーバにアクセス可能ですので、大容量のデジタルコンテンツの迅速な流通が実現できます。
- ・クライアント、広告代理店、デザイン制作会社、印刷会社間で利用でき、これらの間のコミュニケーションのボーダーレス化が図れます。
- ・全国129箇所に亘るGTRAXのアクセスポイントの利用が可能となります。これによりお客様は最寄りのアクセスポイントからの接続が実現でき、通信料金の低減が図れます。

### (2)印刷製版・広告・出版業界の用途に適した機能

- ・コンテンツ配送サービス<sup>\*3</sup>
- ・LAN間通信サービス
- ・インターネット接続
- ・カラーマネジメント<sup>\*4</sup>
- ・リモートブルーフ機能<sup>\*5</sup>
- ・PKI(予定)<sup>\*6</sup>

プリプレス、プレスのシステムとの連携機能の搭載をはじめ、お客様のニーズに応じ、今後とも機能の改善、追加を行ってまいります。

#### \*3 コンテンツ配送サービス

ステータス表示(送受信状況の確認)、レジューム(送受信中の中断からの再開)、データ圧縮・解凍、同報配信、JOBチケット(コンテンツに受信側到着後のプリンタへの出力などの動作命令を添付)、予約送受信など、確実に効率的なデータ送受信をサポートする機能を実装。また、暗号化、オンザフライ配信(リアルタイムの配信)などさらに機能を充実していきます。

#### \*4 カラーマネジメント

ネットワークを介して送信した画像データを、受信側で正確に色変換し、画像処理させる機能。

#### \*5 リモートブルーフ機能

印刷会社からユーザー(発注者)に校正用データを通信で送りカラーマネジメントを介してユーザー側のブルーファーマーやプリンタに自動出力し、効率的に校正チェックを行なえる機能。

#### \*6 PKI(Public - Key Infrastructure)

デジタル証明書を用いた公開鍵暗号方式の総称で、暗号化(機密性のある通信)、電子署名(否認防止)、ユーザ認証の提供が可能で、高セキュリティなデータの送受信を実現します。なお、「GTRAX」では電子ドキュメント技術で、注目されているアドビシステムズ社の「アクロバット4.0」に対応しております。

### (3)オープンな使用環境

- ・クライアントソフトとして、Macintosh、Windows、UNIX版をリリースしています。異なった端末機種(Macintosh、Windows、UNIX)間でのデータ送受信も問題ありません。
- ・クライアントソフトのプラグイン仕様開示を行いますので、お客様自身が、あるいはサードベンダーが、機能拡張を行うことができます。

## 3. 三社が共同開発した背景

プリプレスから刷版までの印刷機器の国内トップメーカーである大日本スクリーンと製版・印刷用感光材料を中心とした印刷機材のトップメーカーである富士フィルムが提携することにより、これまで両社が印刷製版・広告・出版業界向け商品の開発・製造・販売で蓄積した技術・ノウハウを活かしてお客様に最適なシステムを広くご提供いたします。また、各種ネットワークインフラの構築・運営ノウハウを持つNTT Comと提携することにより、効率的で安全なデータ配信を実現できるアプリケーションをご提供いたします。

#### 4. トライアルの成果

- ・セントラルサーバの負荷実験、クライアントソフトの機能確認等、ハード・ソフト両面に渡る検証を実施しました。
- ・トライアルに参加されたお客様に実際の業務でご利用いただき、機能面の検証を行いました。その内容・評価にもとづき、今回システムの機能改善をおりこんでおります。

#### 5. 提供料金(税別)

##### (1)アクセス回線料金

ダイヤルアップ接続	5,000円 /月～
常時接続(フレームリレー接続)	39,000円 /月～
常時接続(ATM接続)	154,500円 /月～

##### (2)コンテンツ配送料金(送信者側)

	20円 /MB
--	---------

#### 6. 販売目標

2002年度までに、約3,000サイト、約100億円の売り上げを見込んでいます。

文中の各商品名は各社の商標、登録商標です。

本件に関するお問い合わせ先

##### <お客様用>

大日本スクリーン製造株式会社  
グラフィックアーツ事業本部 ネットワークビジネス部 GTRAX担当  
TEL:075-352-7845 FAX:075-352-7810  
E-mail:gtrax@screen.co.jp

富士写真フイルム株式会社  
印刷システム部 GTRAX担当  
TEL:03-3406-2258 FAX:03-3406-2911  
E-mail:gtrax@tokyo.fujifilm.co.jp

NTTコミュニケーションズ株式会社  
ソリューション事業部第三営業部 GTRAX担当  
TEL:03-3500-9540 FAX:03-3500-6051  
E-mail:gtrax@ntt.com

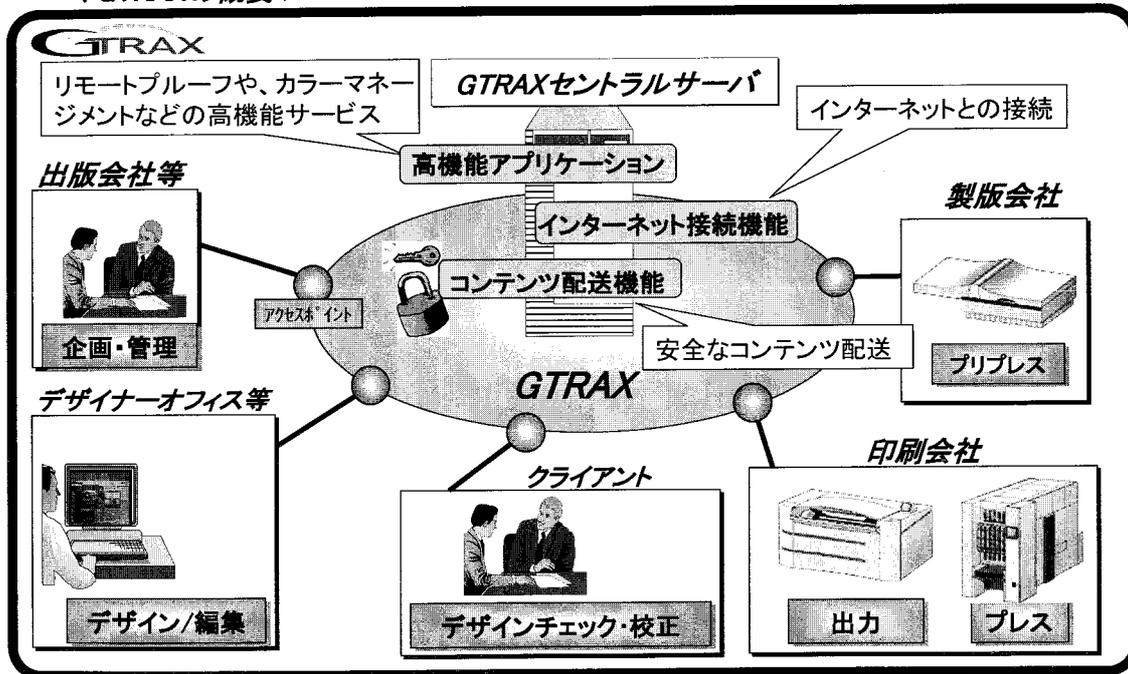
##### <報道関係者様用>

大日本スクリーン製造株式会社 広報室  
TEL:075-414-7131 FAX:075-431-6500  
E-mail:company@screen.co.jp

富士写真フイルム株式会社 広報部  
TEL:03-3406-2490 FAX:03-3406-2909  
E-mail:newsinfo@tokyo.fujifilm.co.jp

NTTコミュニケーションズ株式会社 広報室  
TEL:03-3500-8020 FAX:03-3539-3083  
E-mail:info@ntt.com

< GTRAXの概要 >



SCREEN  FUJIFILM  NTT Communications